

特集

平成27年寄居町成人式

町では、1月11日に中央公民館で「平成27年寄居町成人式」を開催しました。天候に恵まれ、新成人の晴れ姿が会場をまぶしく彩りました。今年、成人を迎えたのは400人で、式には332人が出席しました。



桜沢
用土
市街地・西部
男表A
男表B
鉢形
折原

記念撮影

地区ごとに記念撮影を行いました。写真は文字入れされた後、町からの記念品として新成人へ郵送されます。

成人式運営委員会

寄居町の成人式は19歳から21歳までの町内3中学校の卒業生と、7地域公民館長、中央公民館長で構成された「成人式運営委員会」により運営されています。「自分たちが主役の成人式」を創り上げるため、青年委員が昨年7月より会議を重ね、積極的にアイデアを出し合い準備を進めてきました。当日の受付やアトラクション、式典の司会・進行等にも運営委員が当たっています。

Ecoキャップリサイクル活動

今年で5回目となるEcoキャップリサイクル活動「地球に愛を！子どもに愛を！プロジェクト」は、ペットボトルのキャップ860個集めるとポリオワクチンが1人分接種できるというもので、発展途上国の子どもたちへ届けられます。ポリオウイルスに感染すると、手足が麻痺する症状がみられます。人によっては生涯残ってしまうこともあります。国内で感染する危険性は極めて低いとされていますが、世界にはこのワクチンを必要とする国があるので、発展途上国の子どもたちへ届けられます。ポリオウイルスに感染すると、手足が麻痺する症状がみられます。人によっては生涯残ってしまうこともあります。国内で感染する危険性は極めて低いとされていますが、世界にはこのワクチンを必要とする国があるので、



分のキャップが集まりました。皆さんのご協力、ありがとうございます。

アトラクション



平成22年に城南中学校を卒業した加瀬綾乃さんと、寄居中学校を卒業した南湧成さんの進行によりアトラクションが行われました。卒業アルバムなどからピックアップした写真で作ったスライドショーがスクリーンに映し出されると、会場からは大きな歓声が上がりました。

成人の誓い

式典では、男衾中学校卒業生の杉田彩香さんと赤林佑太さんが新成人を代表して決意や夢、そして20年間支えてくれた方々に対する感謝の気持ちを発表してくれました。(内容は一部抜粋)



杉田 彩香さん
新春を迎え、新たな決意を胸に誓うこの良き日に、我々新成人のために、このような盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございます。町長をはじめとする、大勢の方々からお祝いや激励の言葉をいただき、感謝の気持ちを持つとともに、新人としての自覚を強く感じています。

懐かしい写真で中学時代を思い出した後は新成人へのインタビューが行われ、各々の近況について話してくれました。



式典



寄居中学校卒業生の木附桃さんと城南中学校卒業生の島崎陸さんが司会を務める式典が厳かに執り行われました。来賓や仲間間の言葉を真剣に受け止める新成人の姿が印象的で、その将来に大きな期待が持てます。

私たちがご指導くださいました先生方。また、本場に未熟だった私たちを、身近な大人として厳しく、そして優しく見守っていただきました。先生方から教えていただいたことは、これからもずっと忘れません。そして二十年間、私たちをここまで育ててくれた両親。今までも、いつも私の一番の理解者であり、進むべき道を一緒に考えて



赤林 佑太さん
「失敗したからって何なの？ 失敗から学びを得て、また挑戦すればいいじゃないか」この言葉は、あの有名なウォルト・ディズニーが残した言葉です。私も彼のように失敗し、学び、そして挑戦してきました。小学校時代の私は、友達とよく遊び、楽しんでいたいという考えのもと、課題を真面目に取り組む人ではありませんでした。そんな私を学問に興味を持たせ、やる気を出させてくれた一人の先生がいました。その先生は私に「牛を水飲み場まで引張ってくることはできるが、その牛に無理やり水を飲ませることはできない」と言葉を投げ掛けてくださいました。私はそこから、課題をただこなしていくのではなく、自分で探求していくことの大切さを学びました。

最後にありますが、本日は新成人代表という大役を務めさせていただき、ありがとうございます。感謝の気持ちをもって、私の成人の誓いとさせていただきます。

現在私は大学で、食と農の関連について学んでいます。この学問を専攻した理由として、私には大きな夢があります。それは、食の力で世界を良い方向に変えていくということです。食べ物一つで世界は変わるのか、と思うかもしれません。しかし、人が毎日することは何でしょうか。それは「食べる」ことです。生きていくにはもちろんですが、人を幸せにすることもできると思います。日本では、毎日食べるものが当たり前になっています。世界ではまだまだ、その当たり前ができていない国がたくさんあります。そんな世界を私は変えていきたいのです。

世界を変えた人として、今年度ノーベル賞を受賞した日本人研究者が三人います。彼らはLED(青色発光ダイオード)の開発で、ノーベル物理学賞を受賞しました。この開発は、フルカラーのディスプレイや信号機など、今では当然のように私たちの身の回りで使われている多くの物に応用されています。そのうちの一人は、この研究に当たり年に千回以上の失敗を繰り返していったそうです。他の研究者があきらめていく中、失敗をはねのけ努力を続けた結果、ノーベル賞という大きな賞を受賞したのだと思います。一つの研究で世界を変えていく姿は、夢を追ううえで尊敬でき、励みになりました。

振り返れば、この二十年間の人生でさまざまな失敗をし、そして挑戦してきました。その中で夢を持ち、それを追うことができるのは、決して自分たちだけの力だけではなく、家族の支え、また先生方のご指導・鞭撻があったおかげです。地域住民の方々が優しく私たちの成長を見守ってくださったおかげでもあります。

未来を創り、これから自分たちの力を地域に還元していくのは私たちです。その決意を胸に、成人の誓いとさせていただきます。